

元気にRUN&WALK やすらぎフェスタを開催して…

2005年10月30日(日)



昨年10月30日(日)、信濃川のやすらぎ堤で「元気にRUN&WALKやすらぎフェスタ」を開催しました。一般県民が気軽に参加できるスポーツを通じて、健康者・移植体験者・障害者のふれ合いを創出し、相互理解を深め、移植医療への理解促進につなげていこうとスポーツイベントを企画。10月は国が定める臓器移植推進月間ということもあり、それに合わせての開催でした。

当日は、小雨の降る中での準備作業で少々心配しましたが、何とか天候も回復し、ことなきを得ました。参加者は一般の方がおよそ180名、移植者が応援も含め全国から30名もご来場くださいました。また、県内の障害者団体や各種学校からも多くご参加いただき、盛大のうちに、さらにそれぞれの想いが一つになったと主催者一同感謝のうちに終了することができました。

午後からは、ゲストのランナー・谷川真理さんとともに表彰式、そして第41回 日本移植学会総会主催により、実際の臓器移植に携わる医療従事者、ドナー家族らをゲストに招いて、臓器移植医療についての市民公開フォーラムも盛大に開催することができました。

この開催にあたり、協賛いただいた各企業さま、そして多くのボランティアの方々にもご協力いただきました。また、皆さんの力がなければ、この会の成功はなかったと思っております。この場をお借りして、お礼を申し上げます。



なぜ、スポーツイベントなの？

新潟県においては、県民に移植医療の尊さをどのように伝えればよいか、いつも考えてきました。毎年行っている移植フォーラムなどでも、開催直後はいろいろなメッセージをご理解いただいておりますが、持続的に移植医療の尊さをご理解いただけているのか疑問でした。それは、例えば「移植者は平穩に学校や職場にいる」とのイメージが多数なんだと推察したのです。

そこで、多方面で挑戦している移植者もいるんだということ、さらに一般県民との交流から移植の尊さをアピールする方法として、このロードレースを企画しました。そのキーワードは、①移植者のチャレンジ、②移植者の地域交流、③地方都市(いなか)からの発信、として開催を決意いたしました。



参加者のアンケートから

当日、参加いただいた方へアンケートを取らせていただき、多くのご意見をいただきました。「運営が悪い」との厳しいご意見もありましたが、大会の目的であります「移植医療の尊さを伝える」という観点では、大変に評価をいただきました。

😊

移植者が自分の目標に向って、そして勇気をもって立ち向かう姿に感動した。

[50歳代男性]

😊

移植後も元気に運動できることを知った。

[70歳代男性]

😊

来年もぜひ開催してほしい。

[30歳代女性]

- 協賛各社
- 本田製菓株式会社
 - しなの薬局グループ
 - 高館組
 - トールコーヒージャス
 - 新潟総合警備保障
 - いいがた調剤薬局
 - BSN 新潟放送
 - NOVARTIS
 - 富士タクシー
 - Mizuno

県内の臓器提供及び移植の状況

(1) 献腎提供者・献腎移植者・献腎移植待機者の状況

平成18年3月末現在(人)

年度	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	累計
献腎提供者	86	94	90	85	82	65	84	64	86	90	99	925
新潟県	1	0	0	1	0	1	2	0	5	3	4	17
献腎移植者	161	180	166	158	148	126	161	118	154	166	175	1,713
新潟県	4	3	5	4	2	4	4	2	10	1	7	46
献腎移植待機者		14,990	15,273	13,291	13,448	13,206	13,013	12,862	12,468	12,328	12,095	
新潟県		445	483	483	479	444	426	401	368	355	351	

(2) 献眼登録者・献眼者・移植者・待機者の状況

平成18年3月末現在(人)

年度	H6まで	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	累計
献眼登録者	1,013,591	54,869	53,249	48,314	38,136	29,722	28,202	28,218	20,561	21,374	19,772	17,782	1,373,790
新潟県	13,392	1,236	1,047	970	743	994	1,090	1,209	756	717	566	1,294	24,014
献眼者	20,226	931	956	1,055	1,070	977	875	872	942	882	882	917	30,585
新潟県	282	9	11	10	11	7	13	8	7	6	13	10	387
移植者	14,030	1,545	1,676	1,748	1,716	1,591	1,523	1,493	1,509	1,490	1,442	1,404	31,167
新潟県	403	6	14	15	19	15	18	13	11	12	27	12	565
献眼待機者		5,605	5,699	5,816	5,699	5,540	5,216	5,498	5,028	4,661	4,449	3,924	
新潟県		103	96	95	94	103	98	101	21	24	24	36	

(3) 臓器移植コーディネーターの活動状況(平成18年度)

提供年月	腎	眼	臓器提供施設	臓器移植施設
H17.5		2	自宅	新潟大学医学総合病院・2眼保存
H17.5		2	立川総合病院	新潟大学医学総合病院・2眼移植
H17.8	(1)		(国立長野病院)	信楽園病院・1腎移植
H17.9		2	斎藤記念病院	新潟大学医学総合病院・1眼移植 新潟大学医学総合病院・1眼保存
H17.10		2	立川総合病院	新潟大学医学総合病院・2眼移植
H17.12		2	県立中央病院	新潟大学医学総合病院・2眼移植
H18.1		2	立川総合病院	新潟大学医学総合病院・2眼保存 新潟大学医学総合病院・1眼移植 新潟大学医学総合病院・1眼保存
H18.2	2	2	県立中央病院	立川総合病院・1腎移植 信楽園病院・1腎移植
H18.2		2	燕労災病院	新潟大学医学総合病院・2眼移植
H18.2	2	2	豊栄病院	新潟大学医学総合病院・2眼移植 新潟大学医学総合病院・2腎移植
H18.3	2	2	北日本脳神経外科病院	新潟大学医学総合病院・2眼保存 東京女子医科大学付属病院・2腎移植
H18.3	2		立川総合病院	立川総合病院・1腎移植 新潟大学医学総合病院・1腎移植

(4) 人工透析患者の状況

腎不全のため人工透析を行っている患者さんは年々増加しています。(下図)
腎不全の唯一の根本治療は腎移植であり、多くの患者さんがこれを待ち望んでいます。



財団の活動・運営にご協力ください

【賛助会員加入のお願い】

財団の活動は基本財産の運営益と善意の賛助会費、および寄付金で行っています。賛助会のご加入、ご継続をよろしくお願いいたします。

★賛助会員(年会費)

法人 1口 10,000円
個人 1口 1,000円

(ご入金は郵便振替、または銀行振込でお願いします)

■郵便振替の場合

口座番号 00500-4-76919
財団法人 新潟県臓器移植推進財団

■銀行振込の場合

北越銀行 県庁支店
普通口座 237932
財団法人 新潟県臓器移植推進財団

皆様のご協力をお願いいたします

【財団法人新潟県臓器移植推進財団理事名簿】

平成18年7月1日現在

■理事長

荒川 正昭(新潟県福祉保健部参与)

■副理事長

阿部 春樹(新潟大学大学院医学総合研究科(眼科学)教授)

■常務理事

平澤 由平(信楽園病院顧問)
鈴木 幸雄(新潟県福祉保健部長)

■理事

内山 聖(新潟大学教育研究院医学系系長)
高橋 公太(新潟大学大学院医学総合研究科(泌尿器科学)教授)
下條 文武(新潟大学大学院医学総合研究科長・新潟県病院協会会長)
薄田 芳丸(新潟県医師会理事)
大野 晋(新潟県眼科医会代表)
大森 伯(新潟県透析医会長)
吉田 和清(新潟県立六日町病院長)
星野 芳昭(新潟県市長会(魚沼市長))
大滝 平正(新潟県町村会監事(山北町長))
若林 敏(新潟県社会福祉協議会常務理事・事務局長)
小池 誠毅(新潟ライオンズ・アイバンク協議会理事長)

■監事

若井 静子(新潟県成人病予防協会評議員)
高井 昭三

【財団法人新潟県臓器移植推進財団評議員名簿】

平成18年7月1日現在

■評議員

西 慎一(新潟大学医学総合病院血液浄化療法部助教授)
齋藤 和英(新潟大学医学総合病院泌尿器講師)
笹川 智幸(新潟大学医学総合病院材料部助手)
柳原 俊雄(新潟県医師会理事)
森下 英夫(長岡赤十字病院第一泌尿器科部長)
長部 タミ(新潟県看護協会会長)
佐々木 隆(新潟県腎臓病患者友の会会長)
相田 捷三(新潟県ライオンズ・アイバンク協議会副理事長)
堀内 義信(新潟県厚生農業協同組合連合会理事長)
峯輪 紀子(新潟日報社論説委員)
石川 学(敬和学園高等学校社会科教諭)
近 寅彦(新潟県地区衛生組織連合会会長)
阿部 俊幸(新潟県保健所長会副会長)

■顧問

岩田 和雄(新潟大学名誉教授)
大石 正夫(白根健生病院眼科部長)